

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2344
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業名	91200	外国青年(英語指導助手)招致事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		10,650	11,233	583	10,861	積算内容を精査、着任旅費を増	10,861	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	10,650	11,233	583	10,861			
						10,861		

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
小学校では児童が英語を用いたコミュニケーション活動を通して、異文化や言葉のおもしろさ等を体験。中学校では生徒が英語の表現や実際の運用方法などを学び、コミュニケーション能力を高めるとともに英語の基礎学力を身につける。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
市内児童生徒の英語教育の充実 英語指導助手11名分の経費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
派遣人員(人)	11	11	11
<b>期待できる成果</b>			
スピーチコンテストやイングリッシュシャワーなど、英語を用いるイベントへの参加希望者が毎年多く、積極的に英語を用いる姿が増えてきた。 異文化に暮らす人たちとふれ合うことにより、将来、世界を舞台に活躍できる人材づくりの足場とすることができる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
①自ら学び考える力の育つ教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(5)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
外国青年(英語指導助手)招致事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2358
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業名	91210		教職員健康管理費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,000	2,338	338	2,000	前年度実績を基に、積算内容を精査	2,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,338	338	2,000			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>				
学校保健安全法に基づく、教職員の健康管理				
<b>事業実施の課題</b>				
県職員互助会実施の人間ドックの方が細かく診断される為、そちらを希望する職員が多い。ただし、人数に限りがあるためそれに受診できなかった職員がこちらの健康診断を受診する。				
<b>事業概要</b>				
教職員の健康診断に係る経費				
<ul style="list-style-type: none"> <li>胸部X線撮影</li> <li>年代別検診</li> </ul>				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
胸部X線撮影 (人)		524	554	655
年代別検診 (人)		175	175	220
<b>期待できる成果</b>				
教職員の病気早期発見、健康維持				
<b>要求額増減理由</b>				
受診者の増				

<b>①総合計画</b>		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2358
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業名	91215	日本スポーツ振興センター負担金						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		8,016	7,818	△ 198	7,818	要求どおり	7,818	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	3,842	3,744	△ 98	3,744		3,744	
	一般財源	4,174	4,074	△ 100	4,074		4,074	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
学校管理下における児童生徒の災害補償			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
学校管理下における児童生徒の災害補償費用 児童生徒の負傷、疾病、障がい又は死亡に関する災害補償申請と給付			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
一般児童生徒人数	8,590	8,497	8,334
<b>期待できる成果</b>			
保護者負担減			
<b>要求額増減理由</b>			
H23年度児童生徒数の減による			

<b>①総合計画</b>		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2358
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業名	91220	校長会等負担金						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		6,056	6,053	△ 3	5,981	要求どおり	5,981	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	6,056	6,053	△ 3	5,981		5,981	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
教職員の資質向上及び児童生徒の心身の健全育成のため、教職員で組織される団体への負担金。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
教育関連部門への各種負担金 高山市学校保健会への事業費補助			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
団体(数)	9	9	9
<b>期待できる成果</b>			
<b>要求額増減理由</b>			
対象者人数の減			

<b>①総合計画</b>		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 3457
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	教育研究所運営費
事業名	91250		教育研究所運営事業費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,769	5,003	2,234	4,642	前年度実績見込みを基に、積算内容を精査 光交付金を活用し、不登校児童生徒対策を実施	4,642	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0	1,850		1,850	
	一般財源	2,769	5,003	2,234	2,792		2,792	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
国及び県の教育改革の動向を踏まえ、高山市の子どもへの健やかな成長を期する「心に残る教育を創造する」拠点として、教育研究所の機能を高める。			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
①教育研究センター、②教育研修センター、③教育相談センター、④教育資料センター、⑤不登校適応施設であり塾の運営			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
教員研修開催回数	210	230	250
教員研修参加人数	1,062	1,500	2,000
<b>期待できる成果</b>			
市民パソコン講座等の一般市民向け研修を増やすことで、さらに利用者増が期待できる。不登校児童・生徒の増加に対して、であり塾の対応機能を高めることができる。			
<b>要求額増減理由</b>			
情報研修室、であり塾別館等の施設改修			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切に教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
教育研究所運営事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線:2362
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業名	91252 「新しい公共」型学校創造事業							

新規	継続	拡大	縮小
○			

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出			10,557	10,557	0	国の補助採択が見送られたのでゼロ査定	0	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金		10,557	10,557	0			
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源		0	0	0			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
・「地域住民の学校運営への参画の促進」「地域力を活かした学校支援」「学校力を活かした地域づくり」の観点から、学校と地域の共助体制によるコミュニティ・ソリューションの核となる「地域コミュニティ学校」のモデルを構築する。			
<b>事業実施の課題</b>			
・家庭や地域の教育力の低下や、学校に対する過剰な役割の要求等による教員の多忙化などにより、子どもの教育環境が万全ではない現状がある。また、地域の活力の低下もうかがえる。よって家庭や地域の教育力を向上させるとともに、学校が地域の活性化に貢献することが必要である。			
文部科学省概算要求事業のため国の予算が確定していない。また、全国公募で採択されない状況である。			
<b>事業概要</b>			
・運営委員会を設置し、地域住民も学校に参画する仕組みをつくとともに、地域と学校の連携を図りながら、地域の参画による子どもの活動支援と、学校資源を活用した地域住民の学習活動とその成果の活用を推進し、学校と地域の共助体制の在り方について研究する。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
・運営委員会の実施 ・研修会の開催 ・地域住民への周知を図る活動の実施			月1回開催予定 各種研修を数回開催予定
<b>期待できる成果</b>			
・家庭や地域の教育力の向上により、心身ともに健やかな子どもの育成が図られる。 ・地域のソーシャル・キャピタル(社会的資本)の醸成により、地域課題の解決や価値創造につながるのと同時に、地域の活力の向上、行政効率の高揚に寄与する。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切にす教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
7 将来を担う子どもを守り育てます		
・次代を担う子どもたちを社会の宝として教え育てるため、家庭、地域、学校、行政が連携して、地域毎に「子ども教育連絡会議」を設置します。		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線:2362
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業名	91255		特別支援教育推進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,380	2,888	508	1,250	前年度実績見込みを基に、積算内容を精査	1,250	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	2,380	2,888	508	1,250			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びにくさ、生活のしづらさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・援助を行い、その子の自立を支援し社会参加する力を育てる。</li> <li>・適正な就学指導を行う。</li> </ul>			
<b>事業実施の課題</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学指導委員会が充実し、巡回就学相談への申し込みも増加し、理解啓発の講演会についても数多くの参加を得ている一方、早期発見という視点から考えると、療育システムを含め市全体の体制を整備することが急務である。</li> <li>・近年、軽度発達障がい児童生徒を対象とした通級指導教室が6学級市内に新設された。しかし、環境整備や教材備品整備が充実していない。</li> </ul>			
<b>事業概要</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会、相談会、就学指導委員会の開催。</li> <li>・障がい児等就学支援事業により、認定就学者に対して必要な扶助。</li> </ul>			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
・講演会の開催（開催数）		2	2
・新1年生就学相談会の開催（日）		3	3
・高山市障がい児就学指導委員会の開催(回)		2	2
・扶助事業の実施（名）		2	2
<b>期待できる成果</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びにくさ、生活のしづらさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、その子の自立を支援し社会参加する力を育てることができる</li> </ul>			
<b>要求額増減理由</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級指導教室へ通う人数の増加に伴う経費の増</li> </ul>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切にす教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
特別支援教育推進事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		
5 医療・福祉を充実させます		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい等を持つ人たちの生活を支え、助け合いながら全ての人が生きる喜びを感じる社会を造ります。</li> </ul>		



予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線:2362
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
事業名	91258		教育研究開発事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		4,700	4,976	276	4,400	教育研究開発事業はH22と同額 学力向上実践研究事業はH22で終了	4,400	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	4,700	4,976	276	4,400		4,400	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
・文部科学省が、教育課程の改善に資する実証的資料を得るため、特定の学校を学校教育法施行規則に基づく、研究開発を実施する学校に指定し、あらかじめ現行の基準による教育課程の編成・実施を認めることにより、新しい教育課程、指導方法等についての研究開発を行うもの。			
<b>事業実施の課題</b>			
・LD、ADHD等を含め、障がいのある児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた弾力的な教育課程の編成及び効果的な指導や支援、評価の在り方について研究を進めること。			
<b>事業概要</b>			
・東小学校を研究校として指定し、障がいのある児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた弾力的な教育課程の編成及び効果的な指導や支援、評価の在り方について研究を進める。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
・講演会の開催(回)		2	2
・研究に関する運営指導委員会(開催回数)		3	3
・日々の研究推進			
・成果を広めるための公表会を開催(回)		1	1
<b>期待できる成果</b>			
・その子なりの自立を支援し、社会参加するために必要な力を育てることができる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切にす教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		



予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2358
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92200		小学校運営事業費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出		39,400	100,378	60,978	65,600	普通交付税算入額を参考に積算 教科書の見直しに対応するため、H22予算額に対し、 教師用教科書、教師用指導書の購入費を増	65,600	財務部査定どおり	
財源内訳	国庫支出金			0					
	県支出金			0					
	起債			0					
	その他			0					
	一般財源	39,400	100,378	60,978	65,600			65,600	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
安全安心な教育環境の維持			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
小学校の学校運営に係る経費(消耗品、印刷製本費、器具修繕、医薬材料等)			
新入学児童への防犯ブザー配布・新入学児童安全帽子贈呈			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
小学校数	19	19	19
<b>期待できる成果</b>			
<b>要求額増減理由</b>			
4年に1度教科書の見直しが行われ、教師用教科書、教科用指導書の購入により増			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
④教育環境の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(5)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
小中学校運営事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線:2362
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	09	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
事業名	92203		心の教育推進事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		22,800	22,800	0	22,800	要求どおり	22,800	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	22,800	22,800	0	22,800		22,800	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
・学校生活に「困り感」があり、特別な教育支援を必要としている個々の児童の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。			
<b>事業実施の課題</b>			
・支援が必要であると判断した児童全員にまで、保健相談員による支援が行き届いていないのが現状である。今後も支援を必要とする児童生徒は増えることが予測される。 ・保健相談員の質の向上を図るための研修の充実が必要である。			
<b>事業概要</b>			
・必要とする小学校に、保健相談員を派遣し、特別な教育支援を必要としている児童の支援、心に悩みをもつ児童の心のケアにあたる。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
・保健相談員を小学校に派遣(派遣時間数)		22,755	23,125
<b>期待できる成果</b>			
・学校生活に「困り感」があり、特別な教育支援を必要としている個々の児童の内面に寄り添いながら、保健相談員が支援を行うことにより、児童一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切にす教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(5)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
心の教育推進事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	心の教育推進事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	支援を必要としている児童生徒の増加に対応するため、22年度は相談員を増員し対応した。こけからはいかに一人ひとりのスキルを向上させ、より多くの児童生徒に対応していくかが重要であるため、教職員も含めて資質の向上の研修を強化していく必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358
-------	----------------	----	------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92215		小学校教育機器整備事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		21,500	21,598	98	21,500	要求どおり	21,500	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	21,500	21,598	98	21,500		21,500	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
小学校教材機器の整備の充実			
事業実施の課題			
事業概要			
学校内で使用する教材備品の購入			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
期待できる成果			
教育環境の充実			
要求額増減理由			

①総合計画		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
④教育環境の整備		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 3457
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92220	小学校図書整備事業費						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		15,000	47,619	32,619	44,000	図書購入費は、要求どおり 図書司書の委託化の増(前年度予算は人件費)	44,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	15,000	47,619	32,619	44,000			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
小学校における図書の充実を図り、児童が利用しやすい図書館を整備する。			
<b>事業実施の課題</b>			
児童の活字離れに歯止めをかけ、読書センターとしての機能を充実するとともに、学習支援センターとしての機能を高めることにより、児童が自ら課題を持ち、それを追究していく探究的な学習を支援すること。			
<b>事業概要</b>			
児童生徒、教職員が積極的に利用することのできる図書、教育資料の充実 学習支援センター機能の充実			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
購入冊数(冊)	15,308	17,000	17,000
<b>期待できる成果</b>			
今後さらに、調べる学習などで利用できる図書を整備したり、教職員も積極的に利用できる図書館へと整備したりしていくことにより、読書にとどまらず、自らの課題を追究していく意欲や態度を育てられる図書室へと進化していくことができる。			
<b>要求額増減理由</b>			
19校の図書職員の委託化及び、現在ある図書について電算化経費 人件費 24,776千円減			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
④教育環境の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
学校図書整備事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358
-------	----------------	----	------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92235		小学校パソコン教育推進事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		3,870	3,891	21	3,700	要求どおり H21にパソコンを全面更新 修繕料の削減	3,700	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	3,870	3,891	21	3,700			
							3,700	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
小学校におけるパソコン教育の推進と活用のため			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
小学校におけるパソコン教育に係る経費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
パソコン設置台数(台)	766	766	766
<b>期待できる成果</b>			
パソコンを利用した情報検索等による学校教育の充実			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>			
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして			
学校教育			
(1)義務教育の充実を図る			
④教育環境の整備			
<b>②実施計画・中期財政計画</b>			
<b>③事業評価</b>			
	評価区分		
	目的		
	コスト・成果ポジション	コスト	成果
	実施方針		
	今後の方向性		
<b>④市長の約束</b>			

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358
-------	----------------	----	------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92240	小学校要保護及び準要保護等児童援助費						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		20,260	27,154	6,894	25,590	対象者見込を過去の実績より精査	25,590	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	1,825	2,367	542	2,370		2,370	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	18,435	24,787	6,352	23,220		23,220	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
要保護及び準要保護児童への就学援助と特別支援学級児童への就学援助			
<b>事業実施の課題</b>			
要保護及び準要保護児童の児童数の増加			
<b>事業概要</b>			
<b>就学援助</b> (学用品費、新入学用品費、修学旅行費、通学用品費、校外活動費、学校給食費、PTA会費、クラブ活動費、学級費)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
準要保護人数	245	264	293
<b>期待できる成果</b>			
義務教育の充実が図られる。			
<b>要求額増減理由</b>			
国の要綱改正により、クラブ活動費・PTA会費・学級費等の新設			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切にす教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(5)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
要保護及び準要保護児童扶助事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2358
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92250 学校教育関係事務費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		6,631	7,271	640	6,531	事務費は、H22年度と同額 検診手数料は来年度の児童数を基に、積算内容を精査	6,531	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	6,631	7,271	640	6,531			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
小学校教育推進上の必要経費			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
学校運営に係る一般事務費 児童健診 検尿、心電図検査 等			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
対象小学校数	19	19	19
<b>期待できる成果</b>			
健康診断に伴う早期発見			
<b>要求額増減理由</b>			
各種作品展報償費・印刷製本費の増			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
④教育環境の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		



予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 3457
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92255		スクールカウンセラー配置事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,050	2,550	500	2,050	前年度と同様	2,050	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	2,050	2,550	500	2,050		2,050	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
いじめや不登校等、児童生徒の学校・学習不適應の対応にあたっては、学校におけるカウンセリング機能の充実を図ることが大変重要である。そのため、児童生徒の臨床心理に関して、高度で専門的な知識や経験を有する者をスクールカウンセラーとして学校に派遣することにより、問題解決を図る。			
<b>事業実施の課題</b>			
社会情勢の変化、家庭環境の不安定さ等により、年々教育相談の件数は増え続けている。特に、小学校段階でのケアは児童生徒の発達の段階からみて大変重要と考えられる。今まで以上の措置を考えていかねばならない状況である。			
<b>事業概要</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども、保護者へのカウンセリング</li> <li>子どもの検査の実施</li> <li>教職員へのアドバイス</li> <li>教職員を対象とした児童理解に関する研修会</li> <li>保護者を対象とした研修会</li> </ul>			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
教育相談件数	642	700	700
<b>期待できる成果</b>			
教育相談に専門的見地を持つスクールカウンセラーが入ることにより、幅広い視野から問題解決の方途を探ることができる。			
増え続ける教育相談に迅速に対応することにより、児童が安心して学校生活がおくれ、教育効果が望める。			
<b>要求額増減理由</b>			
スクールカウンセラー派遣増による報償費の増額			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切にす教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
スクールカウンセラー配置事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2362
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
事業名	92265		小学校外部講師活用事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,900	1,900	0	1,900	要求どおり 前年度と同額	1,900	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,900	1,900	0	1,900			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
高山市内の小学校に地域の人材を外部講師として派遣し、児童生徒が教科指導や総合的な学習の時間、クラブ活動等の時間において指導を受けられるようにする。(国際理解教育、キャリア教育、教科の授業)			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
学校教育での地域人材の活用			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
講師派遣時間		950	950
<b>期待できる成果</b>			
地域力を活用することにより、幅広い教育活動が実現できることや、郷土の伝統・文化に目を向け尊重する心を育成することができる			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
①自ら学び考える力の育つ教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2358
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
事業名	93200		中学校運営事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		29,000	28,414	△ 586	29,000	要求どおり	29,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	29,000	28,414	△ 586	29,000		29,000	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
安全安心な教育環境の維持			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
中学校の学校運営に係る経費(消耗品、印刷製本費、器具修繕、医薬材料等)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
中学校数	12	12	12
<b>期待できる成果</b>			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
④教育環境の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(5)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
小中学校運営事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線:2362
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	09	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
事業名	93203		心の教育推進事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		14,400	14,400	0	14,400	要求額どおり	14,400	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	14,400	14,400	0	14,400		14,400	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
・学校生活に「困り感」があり、特別な教育支援を必要としている個々の生徒の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。			
<b>事業実施の課題</b>			
・支援が必要であると判断した生徒全員にまで、保健相談員による支援が行き届いていないのが現状である。今後も支援を必要とする児童生徒は増えることが予測される。 ・保健相談員の質の向上を図るための研修の充実が必要である。			
<b>事業概要</b>			
・必要とする中学校に、保健相談員を派遣し、特別な教育支援を必要としている生徒の支援、心に悩みをもつ生徒の心のケアにあたる。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
・保健相談員を中学校に派遣(派遣時間数)		14,565	14,800
<b>期待できる成果</b>			
・学校生活に「困り感」があり、特別な教育支援を必要としている個々の児童の内面に寄り添いながら、保健相談員が支援を行うことにより、児童一人ひとりがもつよさや可能性が十分発揮できるようにする。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切にす教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(5)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
心の教育推進事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	心の教育推進事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	支援を必要としている児童生徒の増加に対応するため、22年度は相談員を増員し対応した。こけからはいかに一人ひとりのスキルを向上させ、より多くの児童生徒に対応していくかが重要であるため、教職員も含めて資質の向上の研修を強化していく必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358
-------	----------------	----	------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
事業名	93215	中学校教育機器整備事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		16,700	17,049	349	16,700	要求どおり	16,700	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	16,700	17,049	349	16,700		16,700	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
中学校教材機器の整備の充実			
事業実施の課題			
事業概要			
学校内で使用する教材備品の購入			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
期待できる成果			
教育環境の充実			
要求額増減理由			

①総合計画		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
④教育環境の整備		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 3457
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
事業名	93220		中学校図書整備事業費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		13,000	27,146	14,146	25,000	図書購入費は、要求どおり 図書司書の委託化の増(前年度予算は人件費)	25,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	13,000	27,146	14,146	25,000			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
中学校における図書の充実を図り、生徒が利用しやすい図書館を整備する。			
<b>事業実施の課題</b>			
生徒の活字離れに歯止めをかけ、読書センターとしての機能を充実するとともに、学習支援センターとしての機能を高めることにより、生徒が自ら課題を持ち、それを追究していく探究的な学習を支援すること。			
<b>事業概要</b>			
児童生徒、教職員が積極的に利用することのできる図書、教育資料の充実 学習支援センター機能の充実			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
購入冊数(冊)	15,308	17,000	17,000
<b>期待できる成果</b>			
今後さらに、調べる学習などで利用できる図書を整備したり、教職員も積極的に利用できる図書館へと整備したりしていくことにより、読書にとどまらず、自らの課題を追究していく意欲や態度を育てられる図書室へと進化していくことができる。			
<b>要求額増減理由</b>			
12校の図書職員を委託化及び、現在ある蔵書管理の電算化 人件費 10,295千円減			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
④教育環境の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(5)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
学校図書整備事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358
-------	----------------	----	------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
事業名	93235	中学校パソコン教育推進事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出		2,640	2,458	△ 182	2,430	要求どおり H21にパソコンを全面更新 修繕料の削減	2,430	財務部査定どおり	
財源内訳	国庫支出金			0					
	県支出金			0					
	起債			0					
	その他			0					
	一般財源	2,640	2,458	△ 182	2,430			2,430	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
中学校パソコン教育整備の充実			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
中学校におけるパソコン教育に係る経費			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
パソコン設置台数(台)	571	571	571
<b>期待できる成果</b>			
パソコンを利用した情報検索等による学校教育の充実			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>			
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして			
学校教育			
(1)義務教育の充実を図る			
④教育環境の整備			
<b>②実施計画・中期財政計画</b>			
<b>③事業評価</b>			
	評価区分		
	目的		
	コスト・成果ポジション	コスト	成果
	実施方針		
	今後の方向性		
<b>④市長の約束</b>			



予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358
-------	----------------	----	------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
事業名	93240		中学校要保護及び準要保護等児童援助費					

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		19,060	28,965	9,905	28,990	対象者見込を過去の実績より精査	28,990	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	995	1,734	739	1,740		1,740	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	18,065	27,231	9,166	27,250		27,250	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
要保護及び準要保護生徒への就学援助と特別支援学級生徒への就学援助			
<b>事業実施の課題</b>			
要保護及び準要保護生徒の生徒数の増加			
<b>事業概要</b>			
<b>就学援助</b> (学用品費、新入学用品費、修学旅行費、通学用品費、校外活動費、学校給食費、PTA会費、クラブ活動費、学級費)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
準要保護人数	151	156	167
<b>期待できる成果</b>			
給食費を含め滞納の減少			
<b>要求額増減理由</b>			
国の要綱改正により、クラブ活動費・PTA会費・学級費等の新設			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
②一人ひとりを大切にす教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
(5)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
(1)学校教育		
ソフト		
要保護及び準要保護児童扶助事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2358
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	3	中校費	目	2	教育振興費
事業名	93245		学校教育関係事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		16,197	16,820	623	16,163	事務費は、H22年度と同額 検診手数料は来年度の生徒数を基に、積算内容を精査	16,163	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	16,197	16,820	623	16,163			

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
中学校教育推進上の必要経費			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
学校運営に係る一般事務費 生徒健診 検尿、心電図検査 等			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
対象中学校数	12	12	12
<b>期待できる成果</b>			
健康診断に伴う早期発見			
<b>要求額増減理由</b>			
各種作品展報償費・印刷製本費の増			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
④教育環境の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	教育委員会事務局 学校教育課	内線 2362
-------	----------------	---------

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
事業名	93275		中学校外部講師活用事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,800	1,800	0	1,800	要求どおり	1,800	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,800	1,800	0	1,800		1,800	

以下は予算要求時の内容

<b>事業の目的</b>			
高山市内の中学校に地域の人材を外部講師として派遣し、生徒が教科指導や総合的な学習の時間、クラブ活動等の時間において指導を受けられるようにする。(キャリア教育、教科の授業)			
<b>事業実施の課題</b>			
<b>事業概要</b>			
学校教育での地域人材の活用			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
講師派遣時間		900	900
<b>期待できる成果</b>			
地域力を活用することにより、幅広い教育活動が実現できることや、郷土の伝統・文化に目を向け尊重する心を育成することができる。特に、地元で活躍してみえる方々の生き方を学ぶことは、キャリア教育に大きな成果が期待できる。			
<b>要求額増減理由</b>			

<b>①総合計画</b>		
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
学校教育		
(1)義務教育の充実を図る		
①自ら学び考える力の育つ教育の推進		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		